

土屋健治教授著作目録

凡 例

1. 本文献目録は故土屋健治教授が執筆した著作を発行年ごとに整理したものである。
2. 採録した文献は、A. 単行書（翻訳も含む）、B. 複数の著者による論文集を成す単行書に収録された論文、C. 雑誌論文（書評も含む）の3種類で、学術的性格を持つものに限定し、事典項目、対談記事、新聞記事などは割愛した。
3. 文献の表記は、発行年を頭書きにした以外は、原則として『東南アジア研究』の参考文献の表記法に従った。雑誌のうち、号、冊と明記されているものは、通巻号、通巻冊を意味している。
4. この目録の作成にあたっては、高橋宗生氏（アジア経済研究所）、浦野崇央氏（摂南大学）の御尽力を得た。なお、より詳しい目録として浦野崇央編『土屋健治・インドネシア研究の足跡——業績目録』が1996年11月に刀水書房から出版される予定である。

1968 「スカルノ思想の成立とその背景」『国際関係論研究』3号：47-67.

1969 「インドネシアの村落——中部ジャワ・ウォノギリ県ルジョサリ村の調査例」『季刊東亜』107号：74-93.

1969 「ジョクジャカルタにて」『東南アジア研究』7(1)：120-134.

1970 Fungsi Taman Siswa dalam Pergerakan Nasional Indonesia Khususnja dalam Tahun Tigapuluhan. *Pusara* (madjalah Taman Siswa) 40(7).

1970 「インドネシアの『近代化』と『民族主義』をめぐる基本問題」『時事研究特報』80号：2-11.

1970 「スカルノと『エンデ書簡』——スカルノとイスラムをめぐる」『季刊東亜』111号：24-52.

1971 「スカルノの研究——パンチャシラ成立の過程」『東南アジア研究』8(4)：566-579.

1971 「スカルノとハッタの論争」『東南アジア研究』9(1)：61-88.

1971 「サミン運動とインドネシア民族主義」『東南アジア研究』9(2)：236-253.

1972 「スカルノとイスラム（1934年-1942年）」『東南アジア研究』9(4)：577-596.

1972 「インドネシア民族主義について」『季刊東亜』117号：69-77.

1972 「スカルノの第二次世界大戦論」『東南アジア研究』10(2)：234-245.

1972 「インドネシア」『東南アジアハンドブック』松本重治（編），218-249ページ所収. 毎日

新聞社.

- 1973 「インドネシアの植民地化」『社会科学討究』18(2): 343-348.
- 1974 「タマン・シスワの研究——初期の活動に関する一考察」『東洋文化研究所紀要』62冊: 133-169.
- 1974 「タマン・シスワの研究——『民主主義と指導性』理念について」『東南アジア研究』12(2): 193-210.
- 1974 [書評論文]「スカルノ研究の視角についての一試論——ジョン・レグ著『スカルノ伝』を手掛かりとして」『アジア経済』15(12): 74-84.
- 1975 The Taman Siswa Movement: Its Early Years and Javanese Background. *Journal of Southeast Asian Studies* 6(2): 164-177.
- 1976 Gerakan Taman Siswa: Delapan Tahun Pertama dan Latar Belakang Jawa Taman Siswa. In *Indonesia: Masalah dan Peristiwa—Bunga Rampai*, edited by S. Ichimura and Koentjaraningrat, pp. 27-55. Jakarta: Gramedia.
- 1977 「インドネシア」『東南アジアハンドブック』松本重治(編), 216-247 ページ所収. 講談社.
- 1977 「『原住民委員会』をめぐる諸問題——支配と抵抗の様式に関連して」『東南アジア研究』15(2): 131-152.
- 1977 The Dispute between Sukarno and Hatta in the Early 1930s. In *Southeast Asia: Nature, Society and Development*, edited by Shin'ichi Ichimura, pp. 211-243. Honolulu: University of Hawaii Press.
- 1978 「外務省外交史料館所蔵の東南アジア関係史料」『東南アジア研究』16(1): 94-102.
- 1978 「ジャワ知識人の西欧認識をめぐる諸問題(1913年-1922年)」『東南アジア研究』15(4): 530-551.
- 1979 『真実のインドネシア——建国の指導者たち』タウフィック・アブドゥラ(編), 渋沢雅英; 土屋健治(訳). サイマル出版会. (原著 *Manusia dalam Kemelut Sejarah*).
- 1979 「民族精神形成の流れ——訳者補説」『真実のインドネシア——建国の指導者たち』タウフィック・アブドゥラ(編), 渋沢雅英; 土屋健治(訳). 229-240 ページ所収. サイマル出版会.
- 1979 「タマン・シスワの研究(1928年-1930年)——組織化をめぐって」『東南アジア研究』16(4): 527-554.
- 1979 「タマン・シスワの成立と拡大——1922年-1930年を中心として」『東南アジア歴史と文化』8号: 3-46.
- 1979 「インドネシア政治思想研究序説(I)——クビジャクサナアン概念の成立とその構造」

- 『アジア経済』20(5): 2-22.
- 1979 「インドネシア政治思想研究序説(Ⅱ)——クビジャクサナアン概念の成立とその構造」
『アジア経済』20(6): 27-42.
- 1979 「インドネシア政治思想研究序説(Ⅲ)——クビジャクサナアン概念の成立とその構造」
『アジア経済』20(7): 38-51.
- 1980 『オランダ旧植民地省文書館における日本人および日本人関係文書目録 1900-1940』
白石隆; 土屋健治(編). 特定研究「文化摩擦」. 東京大学教養学部国際関係論研究室.
- 1980 「『原住民委員会』をめぐる諸問題——支配と抵抗の様式に関連して」『東南アジア世界
地域像の検証』渡部忠世(編), 67-94 ページ所収. 創文社.
- 1980 「〈南方関与〉の理論的枠組について」『日本をめぐる文化摩擦』衛藤藩吉(編), 125-141
ページ所収. 弘文堂.
- 1980 Perjuangan Taman Siswa dalam Pendidikan Nasional. *Jurnal Penelitian Sosial* 4
(8): 1-20.
- 1980 『インドネシアの諸民族と文化』クンチャラニングラット(編), 加藤剛; 土屋健治; 白
石隆(訳). めこん. (原著 *Manusia dan Kebudayaan di Indonesia*)
- 1980 「インドネシア」『東南アジアハンドブック 改訂版』滝川勉(編), 216-250 ページ所
収. 講談社.
- 1981 [書評] 永積昭(著)『インドネシア民族意識の形成』『アジア経済』22(2): 92-96.
- 1981 「キ・ハジャル・デワントロ——インドネシア民族教育の父」『現代に生きる教育思想 8
アジア』217-250 ページ所収. ぎょうせい.
- 1981 「バ・スロ運動——調伏と跪拝の構造」『インドネシア研究論叢』(伊東定典教授・渋沢元
則教授退官記念論集) 53-69 ページ所収. 東京外国語大学インドネシア語学科研究室.
- 1981 Indonesian Nationalism in Its Strife for Independence. *The Indonesian Quarterly* 9
(4): 48-65.
- 1982 『インドネシア民族主義研究——タマン・シスワの成立と展開』(東南アジア研究叢書
17) 創文社.
- 1982 [書評論文] 「植民地政府文書とインドネシア民族主義運動 John Ingelson. *Road to
Exile: The Indonesian Nationalist Movement, 1927-1934.*」『東南アジア研究』19(4):
473-479.
- 1982 「インドネシアの開発政策と政治的安定」『海外事情』30(10): 143-156.
- 1982 「芸術と文学」『もっと知りたいインドネシア』綾部恒雄; 永積昭(編), 141-166 ペー
ジ所収. 弘文堂.
- 1983 「ジョクジャカルタ——中部ジャワにおける〈みやこ〉の成立と展開」『東南アジア研究』

- 21(1): 17-28.
- 1983 「インドネシアの農村社会と文化——ジャワの場合」『国際農林業協力』6(1): 89-94.
- 1983 [書評] 鈴木中正(編)『千年王国的民衆運動の研究——中国・東南アジアにおける』『アジア研究』30(2): 61-70.
- 1983 「インドネシアにおける政治と言語——バ・スロ事件の文化論的考察」『国際政治』74号(特集: 国際政治の理論と実証): 117-133.
- 1983 [書評] 永積昭(著)『東南アジアの留学生と民族主義運動』『東洋史研究』42(2): 353-360.
- 1984 『東南アジアの政治と文化』土屋健治; 白石隆(編). 東京大学出版会.
- 1984 「19世紀ジャワ文化論序説——ジャワ学とロンゴワルシトの時代」『東南アジアの政治と文化』土屋健治; 白石隆(編), 71-127 ページ所収. 東京大学出版会.
- 1984 *'States' in Southeast Asia, From 'Tradition' to 'Modernity'* (ed.). Kyoto: Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.
- 1984 Yogyakarta dalam Masa Pembangunan. In *'States' in Southeast Asia, From 'Tradition' to 'Modernity,'* edited by Kenji Tsuchiya, pp. 209-256. Kyoto: Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.
- 1984 「〈特集〉東南アジアの世界像——編者の言葉」『東南アジア研究』22(1): 3-5.
- 1984 「カルティニの心象風景」『東南アジア研究』22(1): 53-74.
- 1984 [短評] Benedict Anderson & Audrey Kahin, eds. *Interpreting Indonesian Politics: Thirteen Contributions to the Debate*. 『アジア研究』31(3): 90-91.
- 1985 [書評] Mitsuo Nakamura. *The Crescent Arises over the Banyan Tree*. 『アジア経済』26(11): 103-107.
- 1986 「『ジャワ』から『インドネシア』へ——インドネシア・ナショナリズム再論」『東南アジア世界の構造と変容』石井米雄(編), 247-280 ページ所収. 創文社.
- 1986 「タマン・シスワ運動とインドネシア民族主義——スディヨノ・ジョヨプライトノとデワントロについて」『アジア研究の課題と方法』板垣與一(編), 219-237 ページ所収. 東洋経済新報社.
- 1986 『東南アジアを知る事典』石井米雄; 高谷好一; 前田成文; 土屋健治; 池端雪浦(監修). 平凡社.
- 1986 「カルティニ再論——19世紀ジャワ文化論への一視角」『オランダとインドネシア——歴史と社会』日蘭学会(編), 217-271 ページ所収. 山川出版社.
- 1986 「インドネシアの社会統合——フロンティア空間についての覚え書き」『アジアを中心とする第三世界の政治統合問題——国民国家を挟む三重階層構造の連繋分析』平野健一郎

- (編), 70-118 ページ所収. 昭和60年度科学研究費補助金(総合研究A)研究成果報告書.
- 1986 [書評] 大林太良(著)『シンガ・マンガラジャの構造』『民族学研究』51(1): 90-92.
- 1986 「ニャイ・ダシマ」『翻訳の世界』11(6): 58-61.
- 1986 Perjuangan Taman Siswa dalam Pendidikan Nasional. In *Indonesia dalam Kajian Sarjana Jepang: Perubahan Sosial-Ekonomi Abad XIX & XX dan Berbagai Aspek Nasionalisme Indonesia*. pp.188-210. Jakarta: Yayasan Obor Indonesia.
- 1986 Kartini's Image of Java's Landscape. *East Asian Cultural Studies* 25(1-4): 59-86.
- 1987 *Democracy and Leadership: The Rise of the Taman Siswa Movement in Indonesia*, translated by Peter Hawkes. Honolulu: University of Hawaii Press. (『インドネシア民族主義研究』の英訳).
- 1987 「文化統合と国民形成——インドネシア語市場圏の展開をめぐって」『国際政治』84号(特集: アジアの民族と国家): 80-94.
- 1987 「インドネシアにおける政治と言語——バ・スロ事件の文化論的考察」『社会科学と東南アジア』東南アジア研究会(編), 288-312 ページ所収. 勁草書房.
- 1987 「『ニャイ・ダシマ物語』論」『東洋文化』67号: 167-203.
- 1987 「東南アジア研究の課題と展望」『東南アジア 歴史と文化』16号: 146-154.
- 1987 「政治と言語」『講座政治学VI 地域研究』矢野暢(編), 77-101 ページ所収. 三嶺書房.
- 1987 「タマン・シスワとインドネシア現代政治——『9月30日事件』への対応をめぐって」『東南アジア研究』25(3): 447-463.
- 1988 「インドネシア」『新・東南アジアハンドブック』滝川勉(編), 42-68 ページ所収. 講談社.
- 1988 「政治文化論——インドネシアの政治統合過程を手がかりとして」『第三世界の政治発展』日本政治学会(編), 127-147 ページ所収. 岩波書店.
- 1988 [書評] A. R. Kahin, ed. *Regional Dynamics of the Indonesian Revolution: Unity from Diversity*. 『アジア経済』29(3): 108-111.
- 1988 「インドネシアの社会統合——フロンティア空間についての覚え書き」『アジアにおける国民統合——歴史・文化・国際関係』平野健一郎; 山影進; 岡部達味; 土屋健治, 143-188 ページ所収. 東京大学出版会.
- 1988 [書評] J. D. Legge. *Intellectuals and Nationalism in Indonesia: A Study of the Following Recruited by Sutan Sjahrir in Occupation Jakarta*. Monograph Series. Ithaca, New York (Cornell Modern Indonesian Project). 『東南アジア研究』26(3): 338-340.
- 1989 「〈カエロアン=おどろおどろしさ〉の文学——ジャワ『ニャイ・ダシマ物語』の世界」

- 『文学』57号：48-63.
- 1989 「ジャワ知識人百年の孤独」『中央公論』104(4) (特集：今こそアジアを見る新しい目を)：134-143.
- 1989 「開発時代の国学——インドネシアのパンチャシラ論」『ASEANにおける国民統合と地域統合』岡部達味 (編), 29-61 ページ所収. 日本国際問題研究所.
- 1989 [書評] 岡部達味 (編)『ASEANの20年——その持続と発展』『アジア研究』35(2)：107-114.
- 1989 「『美しいインドネシア』という定型をめぐって——インドネシアの風景画・試論」『安定期社会における人生の諸相——老人と子ども』横山俊夫；藤井譲治 (編), 166-179 ページ所収. 京都ゼミナールハウス.
- 1989 Batavia in a Time of Transition. In *The Formation of Urban Civilization in Southeast Asia*, edited by Yoshihiro Tsubouchi, pp. 83-113. Kyoto: Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.
- 1990 Reading Cerita Nyai Dasima Published in 1896, Batavia. In *Asian Panorama: Essays in Asian History, Past and Present*, edited by K. M. de Silva, Sirima Kiribamune and C. R. de Silva, pp. 75-88. New Delhi: Vikas.
- 1990 「〈想像の共同体〉としての国民国家」『東南アジア学の手法』(講座東南アジア学 第1巻) 矢野暢 (編), 264-280 ページ所収. 弘文堂.
- 1990 [書評] 伊藤亜人；関本照夫；船曳建夫 (編)『現代の社会人類学(3) 国家と文明への過程』『民族学研究』54(4)：512-515.
- 1990 「20年の経験から見た東南アジアの変容」『外交フォーラム』3(9)：36-42.
- 1990 「クロンチョン音楽, そのはるかな旅路」『クロンチョン入門』中村とうよう (編), 2-10 ページ所収. オーディブック.
- 1990 Invincible Kitsch or as Tourists in the Age of Des Alwi. Tsuchiya Kenji and James Siegel. *Indonesia* 50: 61-76.
- 1990 『東南アジアの思想』(講座東南アジア学 第6巻) 土屋健治 (編). 弘文堂.
- 1990 「総説 東南アジアの思想, その展望」『東南アジアの思想』(講座東南アジア学 第6巻) 土屋健治 (編), 1-14 ページ所収. 弘文堂.
- 1990 「ナショナリズム」『東南アジアの思想』(講座東南アジア学 第6巻) 土屋健治 (編), 147-172 ページ所収. 弘文堂.
- 1990 「知識人論」『東南アジアの思想』(講座東南アジア学 第6巻) 土屋健治 (編), 308-334 ページ所収. 弘文堂.
- 1990 Javanology and the Age of Ranggawarsita: An Introduction to Nineteenth-Century

- Javanese Culture. In *Reading Southeast Asia : Translation of Contemporary Japanese Scholarship on Southeast Asia*, edited by Takashi Shiraishi, pp. 75 – 108. Ithaca, N. Y.: Southeast Asia Program, Cornell University.
- 1990 The Colonial State as a ‘Glass House’: Some Observations on Confidential Documents concerning Japanese Activities in the Dutch East Indies, 1900 – 1942. *Journal of the Japan-Netherlands Institute*, No. 2: 67 – 76.
- 1990 [書評] W. G. J. Remmelink. *Emperor Pakubuwana II, Priyayi & Company and Chinese War*. 『東南アジア研究』 28(3): 442 – 444.
- 1990 「東南アジアから日本の国際性を考える」『国際平和研究レポート』 45(11・12): 24 – 34.
- 1991 『インドネシアの事典』 土屋健治； 加藤剛； 深見純生（編）。 同朋舎出版。
- 1991 Popular Literature and Colonial Society in Late-Nineteenth-Century Java: Cerita Nyai Dasima, the Macabre Story of an Englishman’s Concubine. 『東南アジア研究』 28(4): 467 – 481.
- 1991 『カルティニの風景』（めこん選書 2）めこん。
- 1991 「インドネシア国家の成立」『世界の構造化』（シリーズ世界史への問い 9）川北稔（編），191 – 220 ページ所収。 岩波書店。
- 1992 「インドネシアの国家と社会——『モントール事件』をめぐって」『東南アジア世界の歴史的位相』 石井米雄； 辛島昇； 和田久徳（編），281 – 302 ページ所収。 東京大学出版会。
- 1992 *Demokrasi dan Kepemimpinan : Kebangkitan Gerakan Taman Siswa*. Jakarta: Balai Pustaka. (*Democracy and Leadership: The Rise of the Taman Siswa Movement in Indonesia* の H. B. Jassin によるインドネシア語訳)。
- 1992 「インドネシアの国家儀礼——独立記念日考」『安定期社会における人生の諸相——年中行事』 横山俊夫； 藤井譲治（編），214 – 237 ページ所収。 京都ゼミナールハウス。
- 1992 「思想」『東南アジア学入門』（講座東南アジア学 別巻）矢野暢（編），63 – 75 ページ所収。 弘文堂。
- 1992 「ジャワ・バリ世界」『東南アジア学入門』（講座東南アジア学 別巻）矢野暢（編），188 – 201 ページ所収。 弘文堂。
- 1992 「アルマナック・ムラユ論」『東南アジア研究』 30(2): 113 – 191.
- 1992 [書評] 山口博一（著）『地域研究論』『アジア経済』 33(11): 86 – 89.
- 1993 「インドネシア： 最近の展開——スハルトの 25 年」『冷戦構造崩壊後の国際・地域システム』 世界秩序研究会（編），97 – 122 ページ所収。 世界経済情報サービス（ワイス）。
- 1993 「『外文明』と『内世界』——AREA 計画研究のねらい（BO 1 班）」『総合的地域研究』 創刊準備号： 17 – 19.

- 1993 「戦後日本植民地研究史：東南アジア——インドネシアを中心に」『統合と支配の論理』（岩波講座・近代日本と植民地4）307-312 ページ所収。岩波書店。
- 1993 「東南アジアの脱植民地化」『アジアの冷戦と脱植民地化』（岩波講座・近代日本と植民地8）71-100 ページ所収。岩波書店。
- 1993 「国史の創造——歴史」『暮らしがわかるアジア読本——インドネシア』宮崎恒二；山下晋司；伊藤眞（編），10-17 ページ所収。河出書房新社。
- 1993 「スカルノ——民族の青春とともに生きた天衣無縫の『祖国の子』」『英雄たちのアジア』（別冊宝島EX）別冊宝島編集部；桜井由躬雄（編），126-141 ページ所収。JICC 出版局。
- 1993 「Culturalism について」『東南アジア 歴史と文化』22号：201-218。
- 1993 [書評] 倉沢愛子（著）『日本占領下のジャワ農村の変容』『社会経済史学』59(2)：335-338。
- 1993 「(思想の言葉) 地域研究の存立根拠」『思想』834：1-3。
- 1993 「文化の翻訳——意味空間のなりたち」『地域研究の手法』（講座現代の地域研究1）矢野暢（編），197-223 ページ所収。弘文堂。
- 1993 「創られる国民国家——インドネシア独立記念日考」『地域研究のフロンティア』（講座現代の地域研究3）矢野暢（編），225-246 ページ所収。弘文堂。
- 1993 「直線的時間と循環的時間——ジャワの時間論」『地域研究と「発展」の論理』（講座現代の地域研究4）矢野暢（編），57-90 ページ所収。弘文堂。
- 1994 「ジャワ——内向的政治文化の世界」『世界単位論』（講座現代の地域研究2）矢野暢（編），99-130 ページ所収。弘文堂。
- 1994 「『外文明』と『内世界』のあいだ」『総合的地域研究』4：2。
- 1994 「パラソリティス考——ジャワの『内』と『外』」『総合的地域研究』4：12-15。
- 1994 「冷戦構造崩壊後の地域システム——東南アジア」『ポスト冷戦の世界秩序』世界秩序研究会（編），154-164 ページ所収。世界経済情報サービス（ワイス）。
- 1994 『ナショナリズムと国民国家』（講座現代アジア1）土屋健治（編）。東京大学出版会。
- 1994 「ナショナリズムと国民国家の時代」『ナショナリズムと国民国家』（講座現代アジア1）土屋健治（編），3-17 ページ所収。東京大学出版会。
- 1994 「インドネシアにおけるナショナリズムの現在」『ナショナリズムの現在——戦後日本の政治』日本政治学会（編），117-136 ページ所収。岩波書店。
- 1994 『インドネシア——思想の系譜』勁草書房。
- 1994 「植民地空間と大衆文学の成立——19世紀末のバタヴィアにて」『ポピュラー文学の社会学』中嶋昌彌（編），247-269 ページ所収。世界思想社。
- 1995 「ユディスティラ『まけないぞ』——トラウマの文学を論ずる」『人文学報』（京都大学人

文科学研究所) 75 号: 151-178.

- 1995 「芸術と文学」『もっと知りたいインドネシア 第2版』綾部恒雄; 石井米雄(編), 154-183 ページ所収. 弘文堂.
- 1995 「タルナ・ヌサンタラ高等学校の設立」『ナショナリズムと国家建設』(衛藤藩吉先生古稀記念論集『20世紀アジアの国際関係』Ⅲ) 平野健一郎(編), 1-25 ページ所収. 原書房.
- 1995 「ニャイ・ロロ・キドゥルの海——東南アジアの『荒ぶる海』考」『海と文明』(講座文明と環境 第10巻) 小泉格; 田中耕司(編), 176-188 ページ所収. 朝倉書店.
- 1996 *Studies on the Dynamics of the Maritime World of Southeast Asia* (Kenji Tsuchiya and Tsuyoshi Kato, eds.). (in press) Kyoto: Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University.